

教職課程センターの3つのポリシー

到達目標（アチーブメント・ゴールズ）

教職課程センターは、高い専門性を持ち、“明日に向かって成長し続ける教育関係職員”を育てるために、教員免許・諸資格の取得に必要な単位を取得し以下に示すような能力を備えていると認められる学生を教育職員等(教員、司書、司書教諭、社会教育士、学芸員)として認定し、教員免許と諸資格の申請を行う。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 教科内容及び教科の指導法を十分に理解し、児童生徒の豊かな学びを保證する授業実践を行うことができる。
- (2) 「教科に関する専門的事項」、「教育の基礎的理解及び教育実践に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、「社会教育士に関する科目」、「学芸員に関する科目」等の内容を十分に修得し、教育学や学校教育に関する理論と実践知を豊富に有している。
- (3) 司書・司書教諭・社会教育士・学芸員に関する高度な専門性を持ち、現場での実践業務を行うことができる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 我が国の教育などに関する諸課題を発見し、構想することができる。
- (2) 情報に関するリテラシーを有し、状況に応じた的確な判断ができる。
- (3) 自らの考えを的確な表現で他者に伝えることができる。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) 教育関係職員としてふさわしい高潔な人柄であり、豊かな人間性と個性をもち、他者と協業するコミュニケーション能力と協調性を兼ね備えている。
- (2) 所属する学科の専門科目を着実に履修し、教育関係職員として十分な専門知識を有し、自ら考え学び続ける意欲を有している。
- (3) 諸資格に求められるさまざまな能力と知識を十分に有し、社会に貢献できる。
- (4) 児童生徒の成長と発達に資するさまざまな教育活動を積極的に行える。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 多様化する社会に対し、深く考え、多面的な思考をすることができる。
- (2) 異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を発揮し、多文化社会における諸問題の解決に貢献できる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

到達目標に掲げた教育関係職員を養成し、専攻する学問分野において、広い教養と深い学問的素養を獲得し、豊かな人間性と個性をもち、他の教育関係職員と協働する能力を育む教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1) 教職課程では、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「免許法（66条の6）に定める科目」を開設する他、介護等体験や

教職課程センターが主催する教職セミナーや教員養成コロキウムを通して、教職および教科指導に関する事項を統合的に学ぶ。

- (2) 司書・司書教諭課程では、「図書館法施行規則第 5 条」および「学校図書館司書教諭講習規程第 3 条」に基づく科目を開設し、図書館や情報資源、情報サービス等に関する事項を統合的に学ぶ。
- (3) 社会教育士（養成課程）課程では、「社会教育主事講習等規程第 11 条」に基づく科目を開設し、社会教育や生涯学習等に関する事項を統合的に学ぶ。
- (4) 学芸員課程では、「博物館法施行規則第 6 条」に基づく科目を開設し、資料の収集や保管・展示、調査研究、歴史・芸術・民族・産業・自然科学等に関する事項を統合的に学ぶ。

2. 教育方法

- (1) アクティブ・ラーニングが成立する教育方法を採用し、主体的な学びを促進する。
- (2) できる限り少人数の演習形式の授業を取り入れ、双方向の教育を実施する。
- (3) インターンシップ科目を設置し、現場で学ぶ体験的学習を積極的に推奨する。
- (4) 教職課程では、「教職課程履修記録(ポートフォリオ)」を活用し、自己評価と他者評価を踏まえた、学びの振り返りを促していく。

3. 評価方法

- (1) アchievement・Goals（到達目標）に掲げられた各種能力を、資格取得達成要件、単位取得状況、ボランティアなどの諸活動、その他アセスメント等の結果を参考に、多角的かつ総合的に評価する。
- (2) Achievement・Goals（到達目標）に掲げられた各種能力の評価のために、各種アセスメントに加えて、ポートフォリオ等を活用する。
- (3) 教職課程、社会教育士（養成課程）課程、学芸員課程では、実習前提科目を設けることで、実習に向けた形成的評価を行う。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教職課程センターでは、以下のような学生に教職課程および諸資格課程を履修し、教育関係職員を目指して欲しいと考えている。

1. 知識・技能

- (1) 教員免許状および諸資格を取得するために、十分な教養と基礎学力を有している。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 情報を鵜呑みにしない、批判的思考を有する。
- (2) 多面的・多角的なものの見方、考え方ができる。
- (3) 自ら考え、それを他者に伝え、ともに学び合う姿勢がある。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 将来、教育関係職員として働きたいという強い意志を持っている。
- (2) 自らの学科で学んだ専門知識を生かした職業に就きたいと考えている。
- (3) 人と関わることが好きである。
- (4) 学校教育や、図書館、博物館、公民館、その他の社会教育施設での社会教育や生涯学習に強い興味を抱いている。